

## 国保及び後期高齢者 特定健診受診率向上への取組み

## I 国民健康保険 特定健診 ～ 新たな取組み

## ① 特定健診受診自己負担額の改定

	令和3年度	事業開始～令和2年度
自己負担額	1,000円	委託料の3割 (2,421円～2,958円)

## ② 特定健診委託医療機関の拡大

町内医療機関、帯広厚生病院、巡回健診バスに加え、次の医療機関と委託開始

帯広西病院 ・ 十勝勤医協病院(帯広病院・白樺医院)・北斗病院

## ③ 往復ハガキによる受診勧奨通知の導入

受診勧奨通知から巡回ドックの申込みができる往復ハガキを導入

特定健診とともに、がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)、肝炎ウイルス等の  
申込みが一度にできる → 申込みの手間・煩わしさを軽減

## ◎国保特定健診受診率の推移 (％)

項目	H28	H29	H30	R1	R2(確定前)
実績	34.8	39.5	36.0	37.8	33.0
目標値	54.0	60.0	40.0	45.0	50.0

※H28～29の目標値は特定健康診査等実施計画、H30以降はデータヘルス計画

- 令和3年度の実績『5%向上』を目指し、目標値に近づくよう、関係機関、関係課・係と連携して取組みます。

## 2 後期高齢者 特定健診 ～ 新たな取組み

### ① 特定健診受診自己負担額の改定

	令和3年度	事業開始～令和2年度
自己負担額	500円	委託料の1割 (540円～710円)

### ② 特定健診委託医療機関の拡大

町内医療機関、帯広厚生病院、巡回健診バスに加え、次の医療機関と委託開始

十勝勤医協病院(帯広病院・白樺医院)
--------------------

### ③ 後期高齢者健診受診率向上モデル事業による受診勧奨

※事業主体:北海道後期高齢者広域連合、(株)キャンサースキャン

#### ◎事業の目的

健診受診率向上業務について、AI を活用したデータ分析、その結果に基づき、ナッジ理論による効果的・効率的な受診勧奨内容を調製する支援等を行い、後期高齢者医療制度における健診受診率向上及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を見据えたデータヘルスの推進を目的とする。

#### ◎事業の内容

芽室町の75歳～79歳の後期高齢者300人を上記の分析により抽出し、健診受診勧奨ハガキを2回送付する。(1回目は6月9日発送・2回目は10月を予定) 勧奨通知後の反応、受診率への影響等を検証する。

#### ◎後期高齢者特定健診受診率の推移

(%)

項目	H28	H29	H30	R1	R2(確定前)
実績	9.6	9.7	9.7	9.5	6.8
目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0

※目標値は北海道後期高齢者広域連合第2期データヘルス計画より

■ モデル事業を有効活用し、令和3年度の実績『5%向上』を目指すとともに、高齢者の健康基礎データ把握に役立てます。